

2022年度

事業計画書

公益財団法人 文楽協会

1. 事業概要

人形浄瑠璃文楽（以下「文楽」という。）の保存及び普及を図るために、文楽の公演、伝承、後継者育成、普及啓発事業に国、大阪府、大阪市並びに国立文楽劇場等と連携を密にして取り組む。なお、新型コロナウイルス感染症防止対策に万全を期し、着実に事業を推進する。

2. 公演事業

国立文楽劇場及び国立劇場での本公演、青少年を対象とする文楽鑑賞教室、若手公演をはじめ、文楽協会主催の地方公演並びに「内子座文楽」や「長門文楽」公演等の個々の劇場、ホールとの間で実演内容を取り決めて行う特別公演がある。それぞれの文楽公演事業を通して文楽の振興を図る。

さらに、特別公演の主催団体と連携しオンライン形式での発信にも鋭意取り組む。

2022年度の各種公演の予定は次の通りである。

(1) 本公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

劇場名	期間	日数（公演数）
大阪（国立文楽劇場）	4/ 2～ 4/24	22日（66回）
	7/16～ 8/ 4	19日（57回）
	11/ 5～11/27	22日（66回）
	1/ 3～ 1/25	22日（66回）
東京（国立劇場）	5/ 7～ 5/24	17日（51回）
	9/ 3～ 9/20	17日（51回）
	2/ 4～ 2/21	17日（51回）
合計		136日（408回）

*従来1日2部制（夏休み公演以外）であったが、2021年度以降新型コロナウイルス感染症対策により、1日3部制で実施

(2) 地方公演（文楽協会主催）

公演期間	会場予定数	日数（公演数）
10月（9/28～10/16）	8会場	8日（16回）
3月（3/3～3/21）	7会場	8日（16回）
合計	15会場	16日（32回）

(3) 文楽鑑賞教室（国立文楽劇場・国立劇場主催）

劇場名	期間	日数（公演数）
大阪（国立文楽劇場）	6/ 2～ 6/16	14日（24回）
東京（国立劇場）	12/ 6～12/19	13日（38回）
合計		27日（80回）

*従来1日2部制であったが、2021年度以降新型コロナウイルス感染症対策により、1日3部制で実施

(4) 若手公演（国立文楽劇場・国立劇場主催）

劇場名	期間	日数（公演数）
大阪（国立文楽劇場）	6/19～ 6/20	2日（2回）
東京（国立劇場）	6/24～ 6/25	2日（2回）
	12/ 6～12/19	13日（26回）
合計		17日（30回）

(5) 特別公演（主な公演のみ掲載）

公演名	期間	日数（公演数）
長門文楽（山口県長門市）	7/ 1～ 7/ 3	3日（3回）
内子座文楽（愛媛県内子町）	8/20～ 8/21	2日（4回）
中之島文楽（大阪市中央区）	10/14～10/15	2日（4回）
はじめての文楽（大阪市中央区）	3/ 4	1日（2回）

*ギオンコーナーは、新型コロナウイルス感染症の影響で、2022年2月末現在再開の目途が立っていません。

3. 伝承事業

文楽の保存及び普及を図るためには、師匠を始めとする経験豊富な技芸員が、将来を担う若手技芸員を指導し、その技量の向上を促していく必要があります。師匠と弟子の間で行われる指導、研修や若手技芸員の自発的な発表会の開催に対し積極的に協力、助成を行う。また、文楽に関する備品購入の助成を引き続き実施する。

さらに、一般に公開する初心者向けミニ公演、若手技芸員の自己研鑽や自発的な発表の場等の確保に努め、真摯に舞台を務め、技芸の向上が著しい若手技芸員に対して「文楽協会賞」を贈る。

2022年度の契約予定技芸員数は、次の通りである。

契約技芸員数	太夫	三味線	人形
85名	21名	21名	43名

4. 後継者育成事業

新たに文楽の技芸員を目指す者には、独立行政法人日本芸術文化振興会の文楽研修生として2年間の研修を受けるか、師匠格の技芸員に入門し文楽協会の研究生として

技量を磨くかの2つの道があるが、これらの研修生、研究生に対して円滑に研修、指導が受けられるよう助成を行う。

なお、現在の第30期研修生（太夫1名、三味線1名）は2023年4月より技芸員契約を締結予定。研究生は現在3名が在籍。

また、第31期研修生として2022年度より新たに3名を迎える予定。

5. 普及啓発事業

これまで文楽に馴染みの少なかった人達に、文楽を知り親んでもらうための普及啓発事業を、大阪府、大阪市、公益財団法人関西・大阪21世紀協会の協力のもと実施する。

(1) 大阪府教育委員会

解説と短時間公演で構成する「文楽はじめよう」を大阪府内の施設で実施する。

劇場名	期間	日数（公演数）
枚方市総合文化芸術センター（枚方市）	7/7	1日（2回）
東大阪市文化創造館（東大阪市）	10/19	1日（2回）
国立文楽劇場小ホール（大阪市中央区）	3/13	1日（2回）
合計		3日（6回）

(2) 大阪市

「文楽を中心とした古典芸能振興事業実行委員会」（構成：大阪市、文楽協会）が実施する「ムムム!!文楽」事業に積極的に取り組む。

(3) 公益財団法人関西・大阪21世紀協会

アーツサポート関西・文楽支援寄金による「そうだ、文楽に行こう!!ワンコインで文楽」事業を実施する。

*2020・2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を中止

6. 運営

(1) 理事会の開催 5月、3月

(2) 評議員会の開催 6月

7. その他

文楽協会の事業趣旨に賛同いただける法人・個人から幅広く支援を募るための「公益財団法人文楽協会賛助会員制度」の拡充を引き続き図る。

また、同会員向けのサービスとして、「賛助会員通信」の発行、一定以上の口数加入者向けの特典・国立文楽劇場鑑賞券の進呈や、定期的なチラシ送付等の情報提供を実施する。

以上